



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2023.8.1 No.3

山梨支部第 5 回定期大会

「大会宣言」を満場一致で採択！

大会宣言-(案)-

JR 東日本輸送サービス労働組合山梨支部は本日、山梨県立図書館にて第 5 回定期大会を開催した。センター化により融合と言う名の担務の掛け持ちによる給与の減少、安全レベルの低下等、多くの弊害が出ている。一番大切な安全がただの言葉だけにその現状が死傷者を出す異常事態になっている。自らとお客さまの命を守り安全で不安なく働きがいがある統括センター！その為に組織を壊す様々な不当労働行為の根絶、輸送サービス労組の強化と拡大を全ての仲間と確認した。

組織強化を目指した新入社員への声かけ、ルールを遵守し正当な組合活動であるが、会社は問題とし対立する形になった「八王子駅パンフ配布処分事件」。東京都労働委員会から正当な組合活動と認め、救済命令が出された。しかし会社は『承服し難いものである』として中央労働委員会に再審査を申請した。都労委の命令は有効であるのにも関わらず、法律を無視し今でも履行されていない。コンプライアンスとは何か？このような事が許されれば多くの差別・不当労働行為のまかり通る職場環境となってしまう。「脱退パワハラ訴訟」については 8 月 10 日に判決が言い渡される。この状況を許さず、声をあげ続け組合員のための労働組合活動で健全な職場環境を実現させよう！

前回のダイヤ改正にて、八王子支社で唯一の駅と運輸を統括した甲府統括センターが発足した。駅と運輸にて業務の指示や認識に違いがあり、様々な問題が発生している。現在、甲府駅（輸送 B）の担務に運転資格の無い社員が担当を始めており、乗務員含め容易に担当させることを見据えている。輸送混乱時等は運転担当の負担が増え、経験と技能がある社員はジョブローテーションにて転勤となりチームワークにて安全を保っている現状が揺らいでいる。支部管内では増える鹿との事象、指令は駅に対応を指示するが、要請箇所によっては要員が居ないため簡単には向かえず、現場を無視した運行優先体質となっている。他箇所でもワンマンでの流転・早閉め・赤閉め・反対側のドア扱いや JR 東日本会社全体の速報を見ても若い乗務員の事象が多く、関連会社でも高尾駅構内にて軌陸車の脱線・入換車両が工事用手車止めと衝突・二日連続の工事遅延と数えきれない事象が発生している。共有化されない事象もあり非常に危機的な状況だ。これは人間労働の特性を軽視した結果では無いのか？何故発生するのか？背景・要因を掴みつつ真の対策をしなければ安全の確立はできない。内房線では感電死亡事故も発生している。関連会社で命を落とした社員は、まだ 20 代の若さである。何故、未来ある若者がそのような事になってしまったのか？全組合員で今一度、命の尊さを考え、意識を高め、健全な倫理観を持つ企業風土と、職場における安全文化を創り上げよう。

「赤字ローカル線 36 路線 72 区間」支部では小海線の現状を調査し、地域交通としてどのような形が適しているのか、地域・自治体と共に考え、沿線住民からの多くの声を聞き鉄道の必要性を切に実感した。会社は廃止を含む転換を目論んでいる。関係する議員や諸団体と連携を強化し、公共交通機関として、安心して暮らせる権利を守り必要とされる JR 東日本会社となるために最適な鉄道網を共に創り出していく。

統一地方選挙では推薦、支持した候補者の当選を勝ち取り私達の運動の力となっている、今後も諸団体、議員と共に関係を深めながら、厳しい現状ではあるが目の前の多くの問題から目を背けず、様々なコミュニケーションを活用し、今一度、命・安全を柱に差別の無い、明るく元気に安心して働ける健全な職場構築を目指し、組織強化・拡大を実現するために全ての仲間とともに結集して一丸となり奮闘していこう！

以上、宣言する。

2023年7月31日
JR 東日本輸送サービス労働組合
八王子地方本部 山梨支部
第 5 回定期大会

「命」を守るために今一度、命の尊さを
考え、意識を高め、健全な企業風土を創
り上げていくことを確認！

「横のつながり」を大切にして、心の豊かさ、

働きがいの持てる職場をつくっていきましょう！

